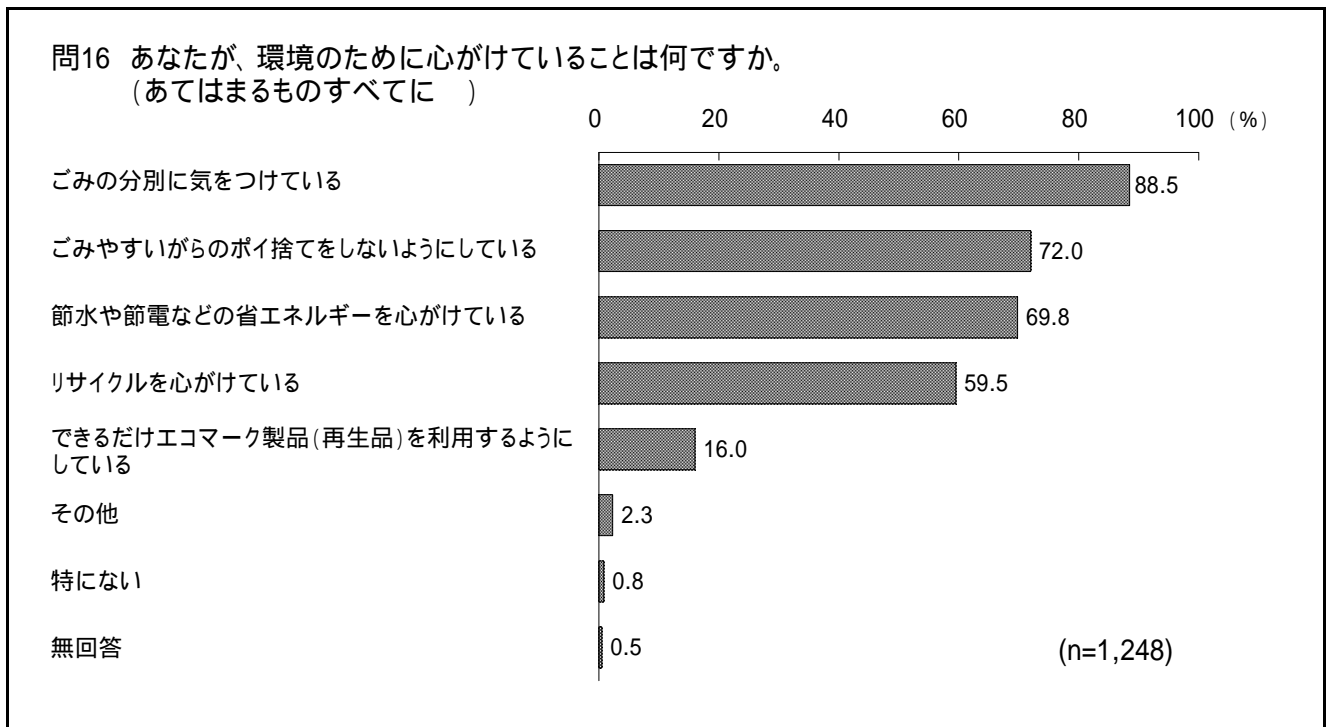


3 日常の区民生活

(1) 環境のために心がけていること

「ごみの分別に気をつけている」が最も高く約9割

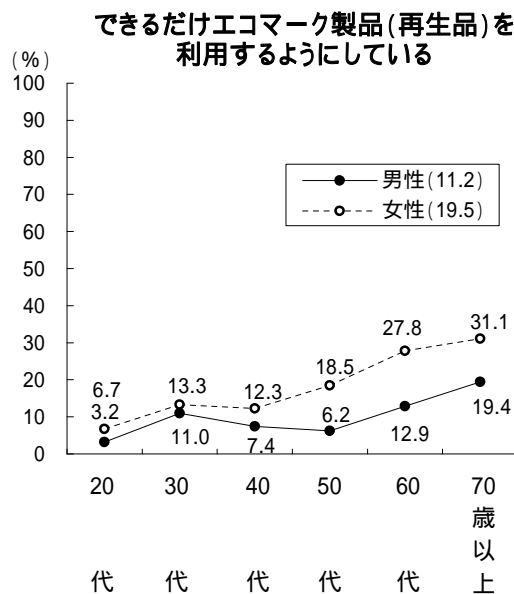
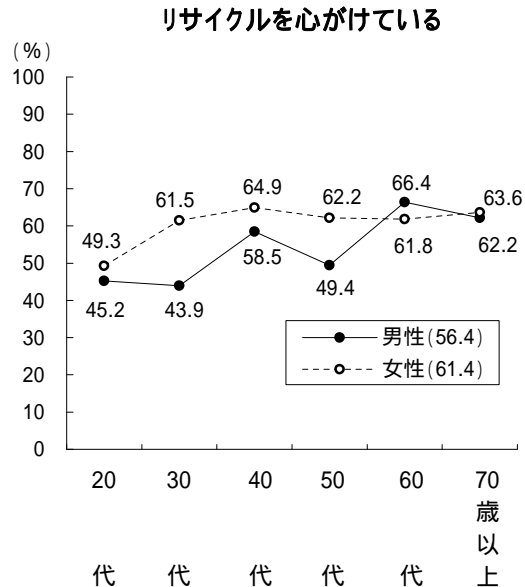
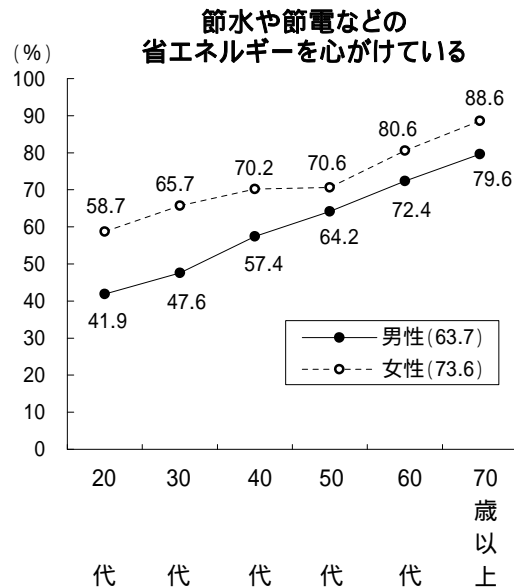
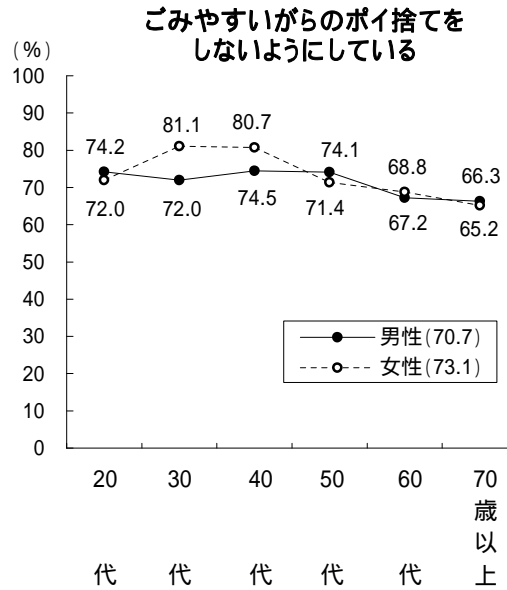
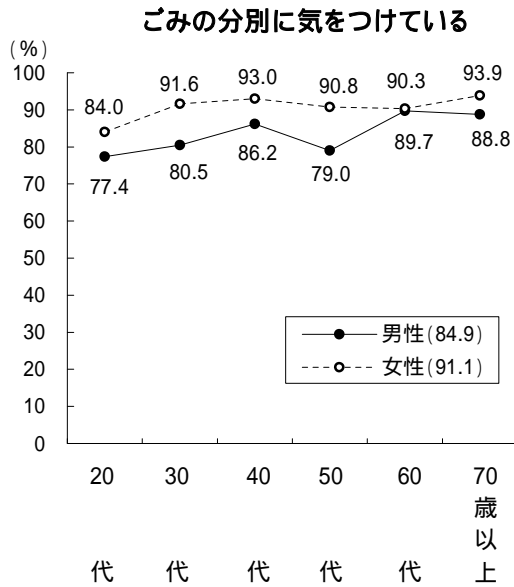


環境のために心がけていることでは、「ごみの分別に気をつけている」(88.5%)が最も高く、次いで「ごみやすいがらのポイ捨てをしないようにしている」(72.0%)、「節水や節電などの省エネルギーを心がけている」(69.8%)となっている。

性・年代別にみると、図3 - 1 - 1のとおりである。

全体的に、女性の方が男性よりも割合が高い傾向にある。また、「節水や節電などの省エネルギーを心がけている」と回答した人は年代が上がるにつれて上昇する傾向がみられる。

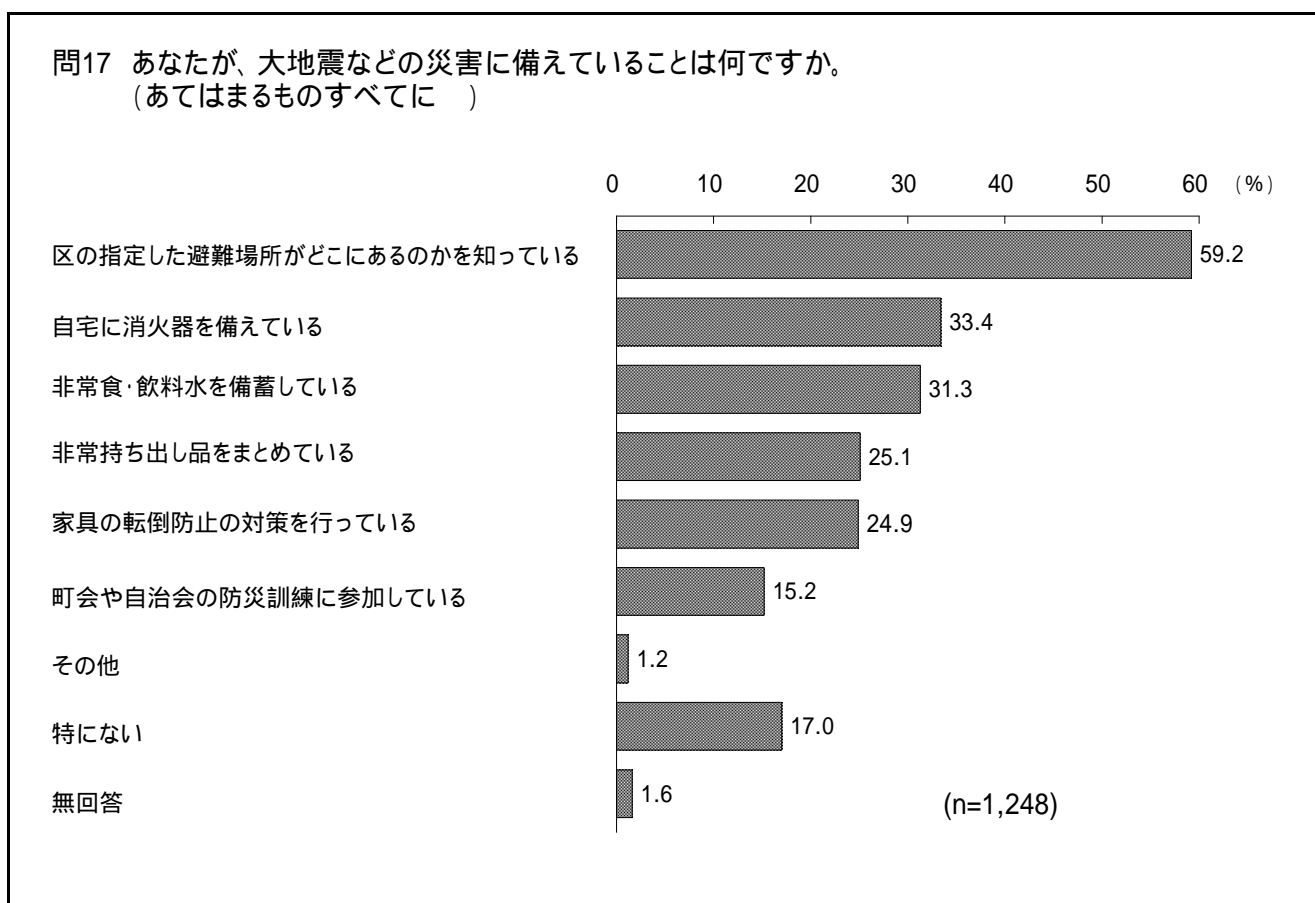
図 3 - 1 - 1 環境のために心がけていること（性・年代別）



:()内の数値は男女それぞれの全体を示す

(2) 災害に備えていること

「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」が最も高く59.2%



災害に備えていることについては、「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」が59.2%と最も高く、次いで「自宅に消火器を備えている」は33.4%、「非常食・飲用水を備蓄している」は31.3%となっている。

地域ブロック別にみると、図3 - 2 - 1のとおりである。

「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」と回答した人は第8ブロックが68.1%で最も高い。

性・年代別にみると、図3 - 2 - 2のとおりである。

「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」と回答した人では、女性はいずれの年代においても男性よりも割合が高く、特に女性60代では77.1%の高い値を示している。

図 3 - 2 - 1 災害に備えていること (地域ブロック別)

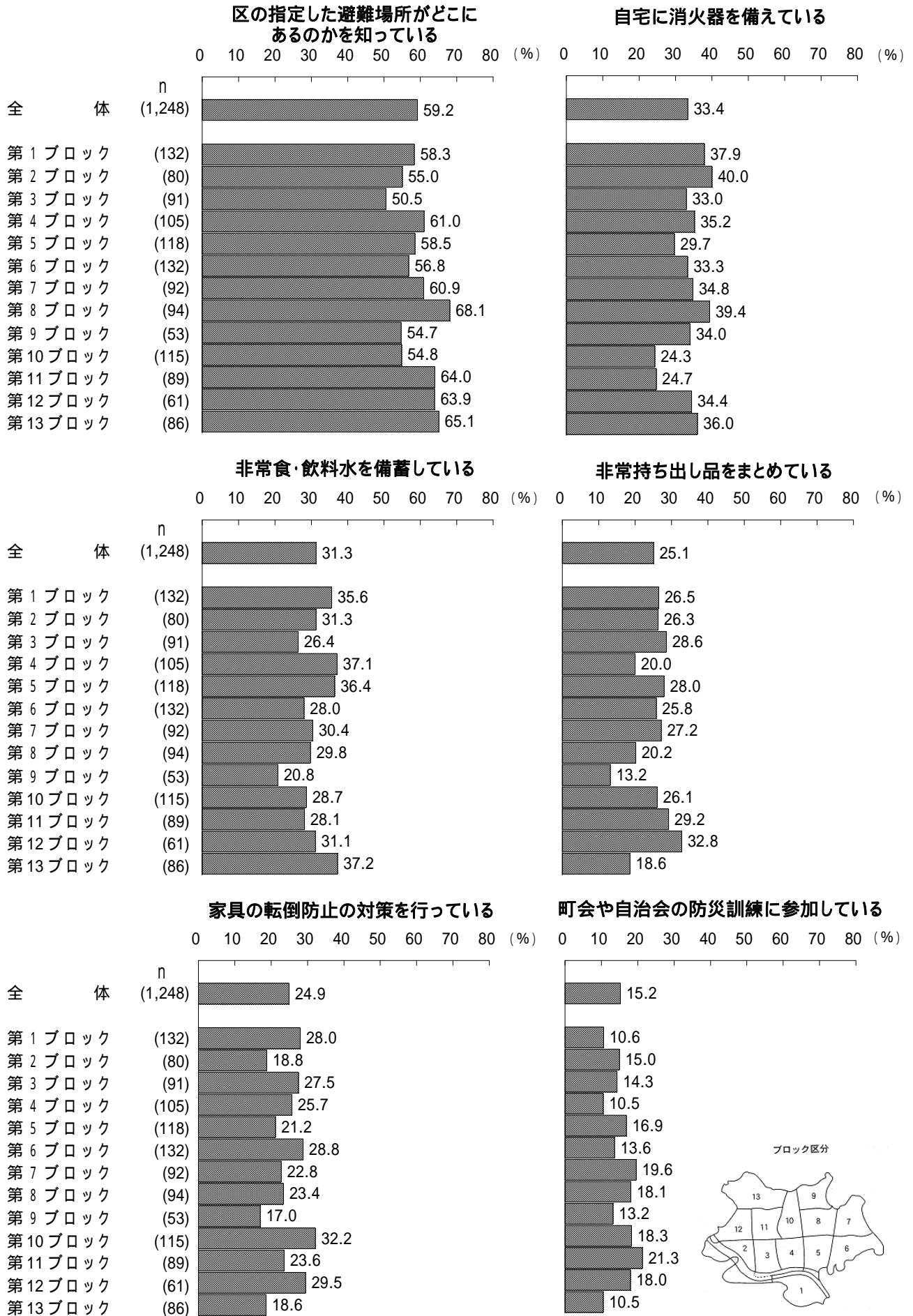
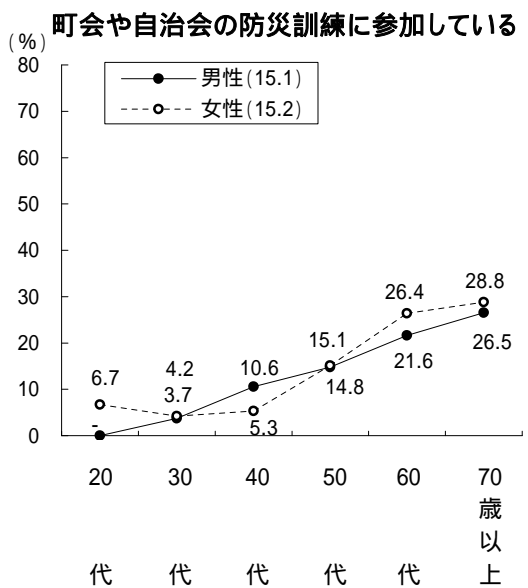
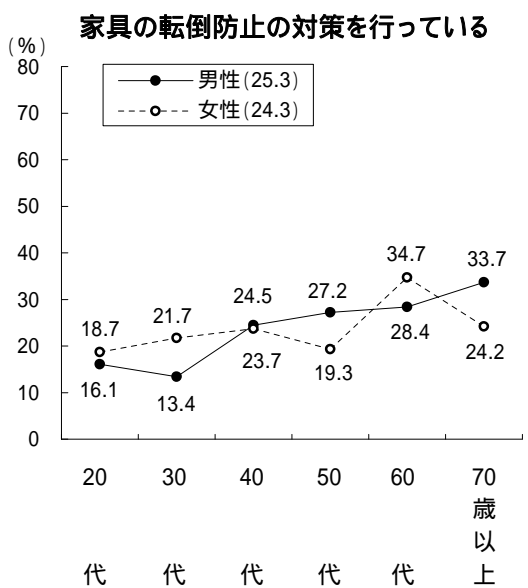
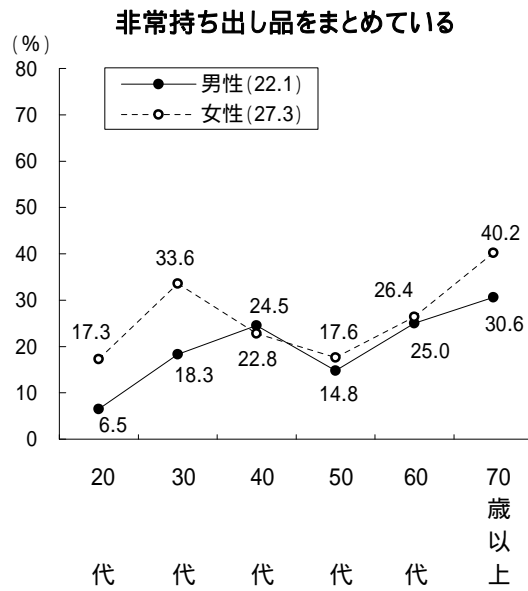
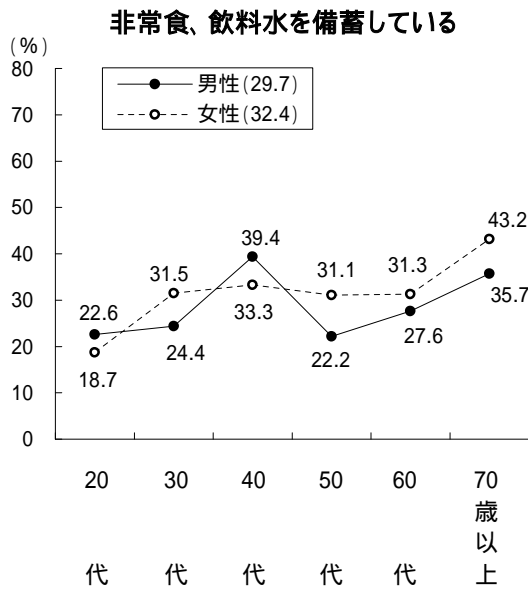
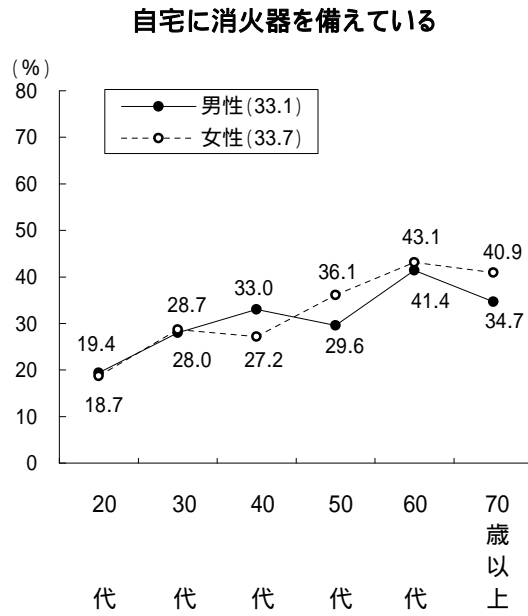
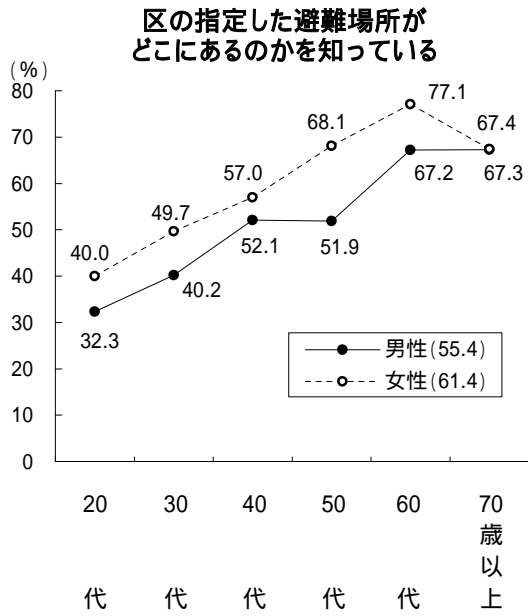


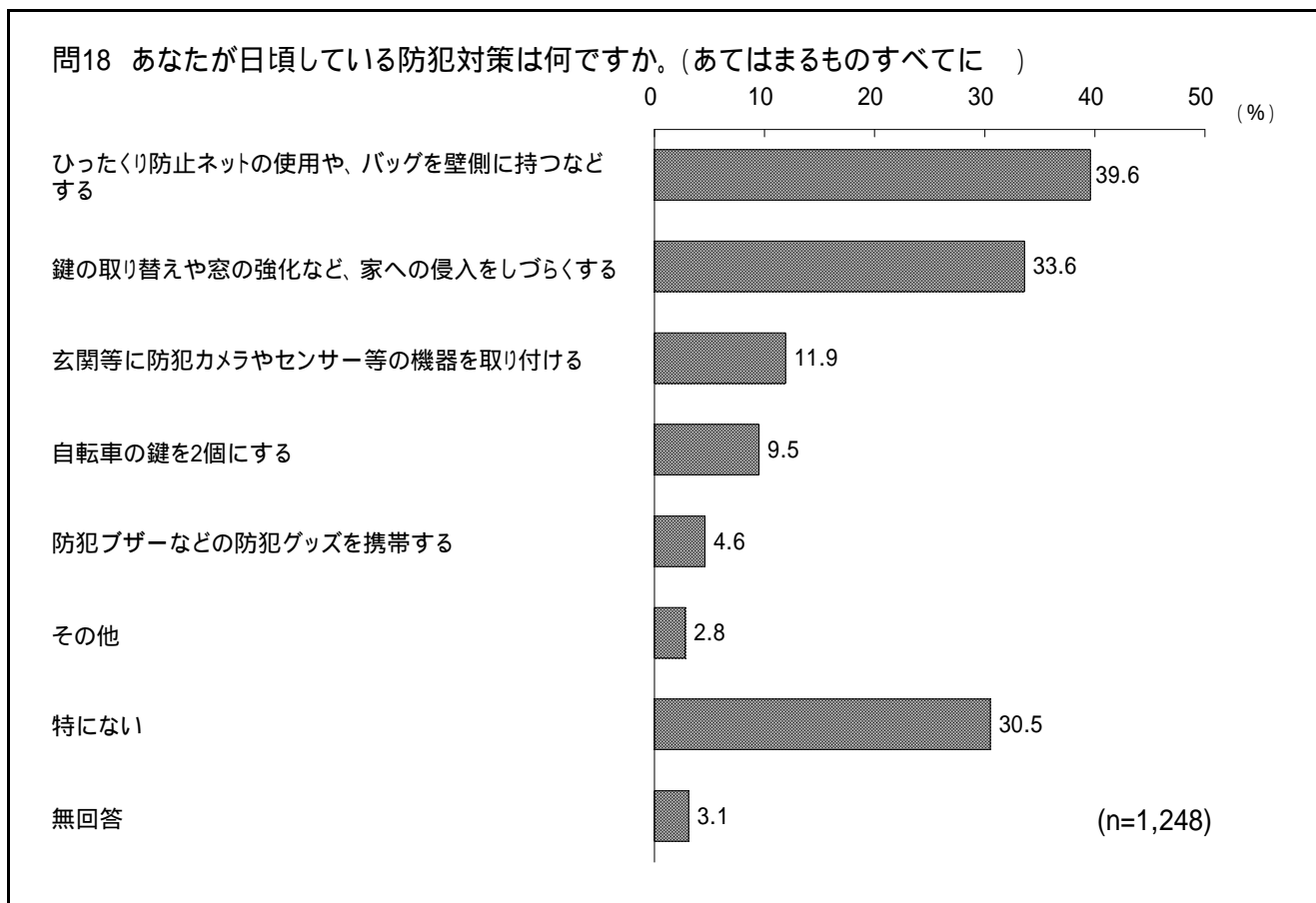
図 3 - 2 - 2 災害に備えていること（性・年代別）



:()内の数値は男女それぞれの全体を示す

(3) 日頃の防犯対策

「ひったくり防止ネットの使用や、バッグを壁側に持つなどする」が39.6%で最も高い

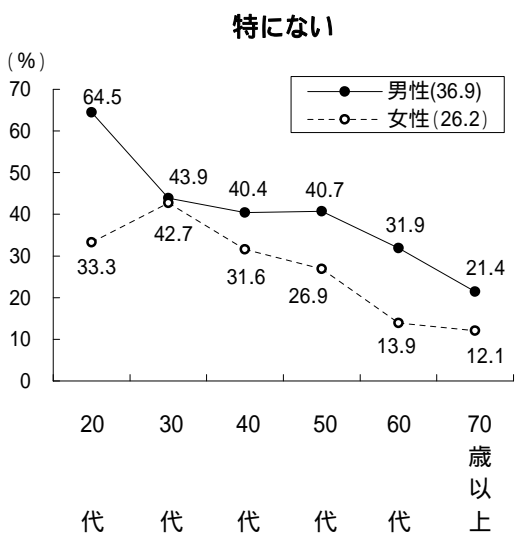
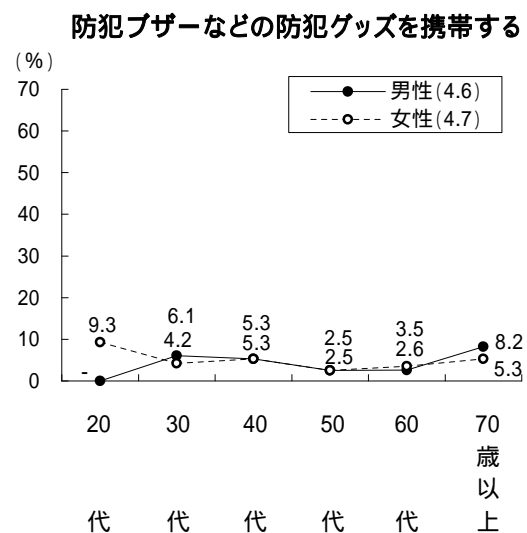
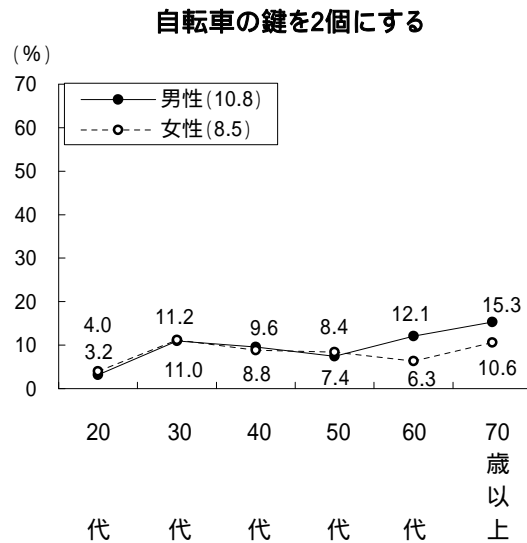
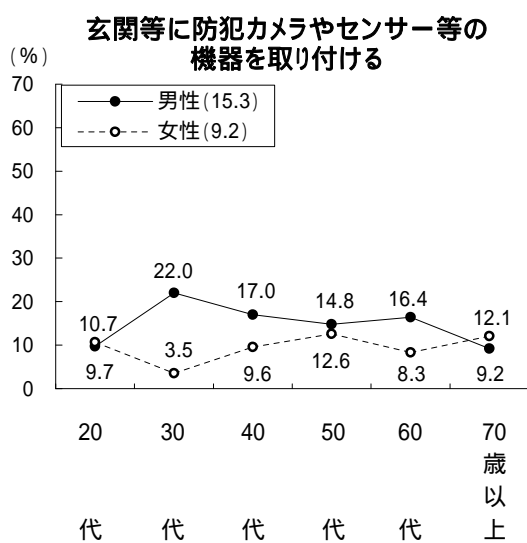
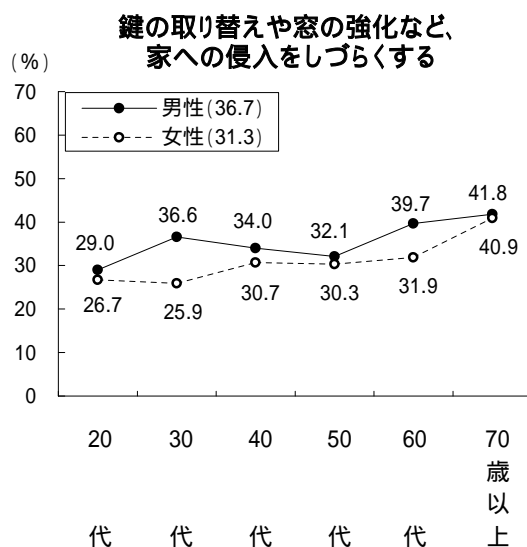
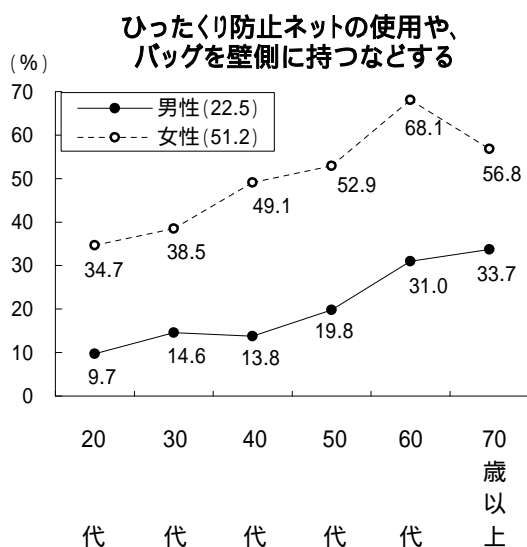


日頃の防犯対策については、「ひったくり防止ネットの使用や、バッグを壁側に持つなどする」が39.6%で最も高く、次いで「鍵の取り替えや窓の強化など、家への侵入をしづらくする」が33.6%と高い値を示す一方、「特にない」も30.5%みられる。

性・年代別にみると、図3 - 3 - 1のとおりである。

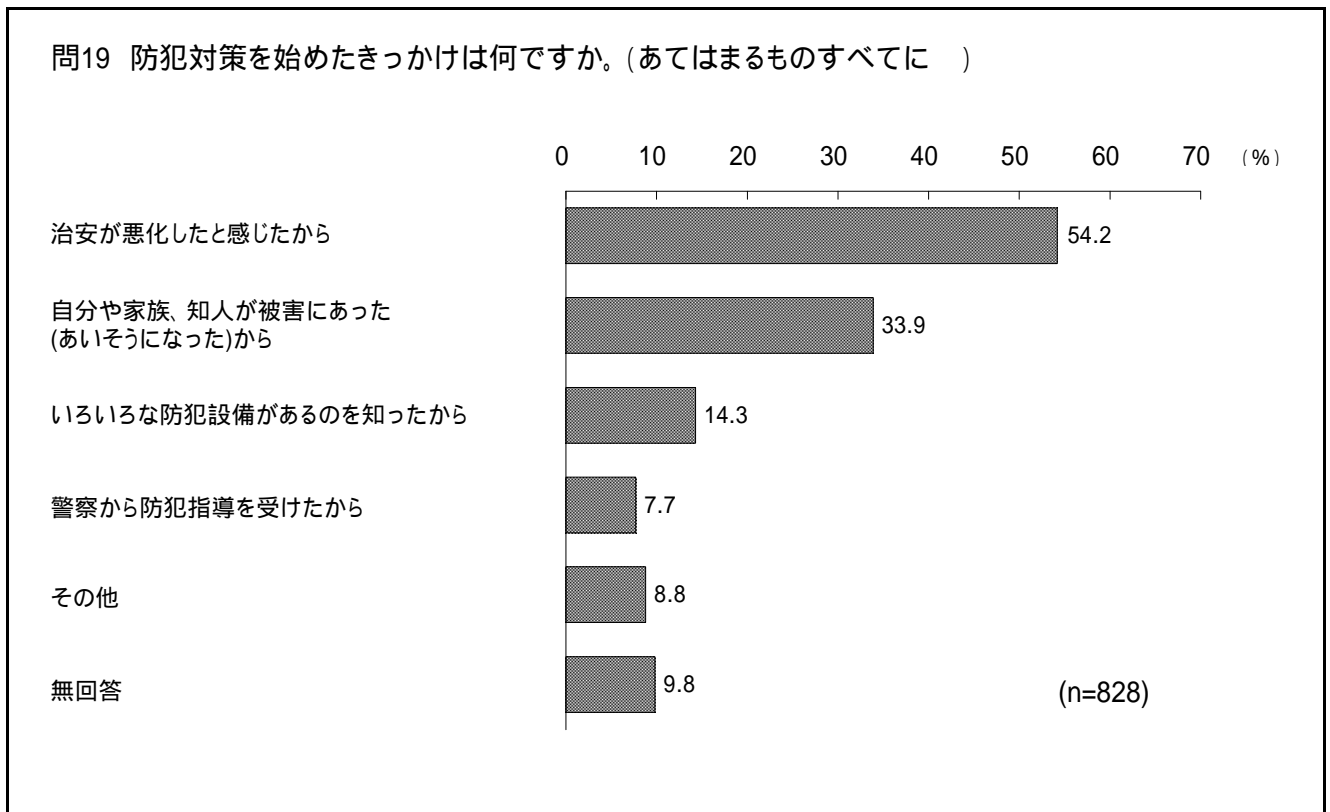
「ひっきり防止ネットの使用や、バッグを壁側に持つなどする」では、いずれの年代でも女性の方が男性よりも高く、特に女性60代で68.1%と最も高く、年代が上がるにつれ上昇する傾向がある一方で、男性は最も高い70歳以上でも33.7%にとどまっている。また、「特にない」はいずれの年代においても、男性の方が女性よりも高く、男女ともに年代が上がるにつれ下降する傾向がある。

図 3 - 3 - 1 日頃の防犯対策（性・年代別）



(4) 防犯対策を始めた動機

「治安が悪化したと感じたから」が最も高く54.2%

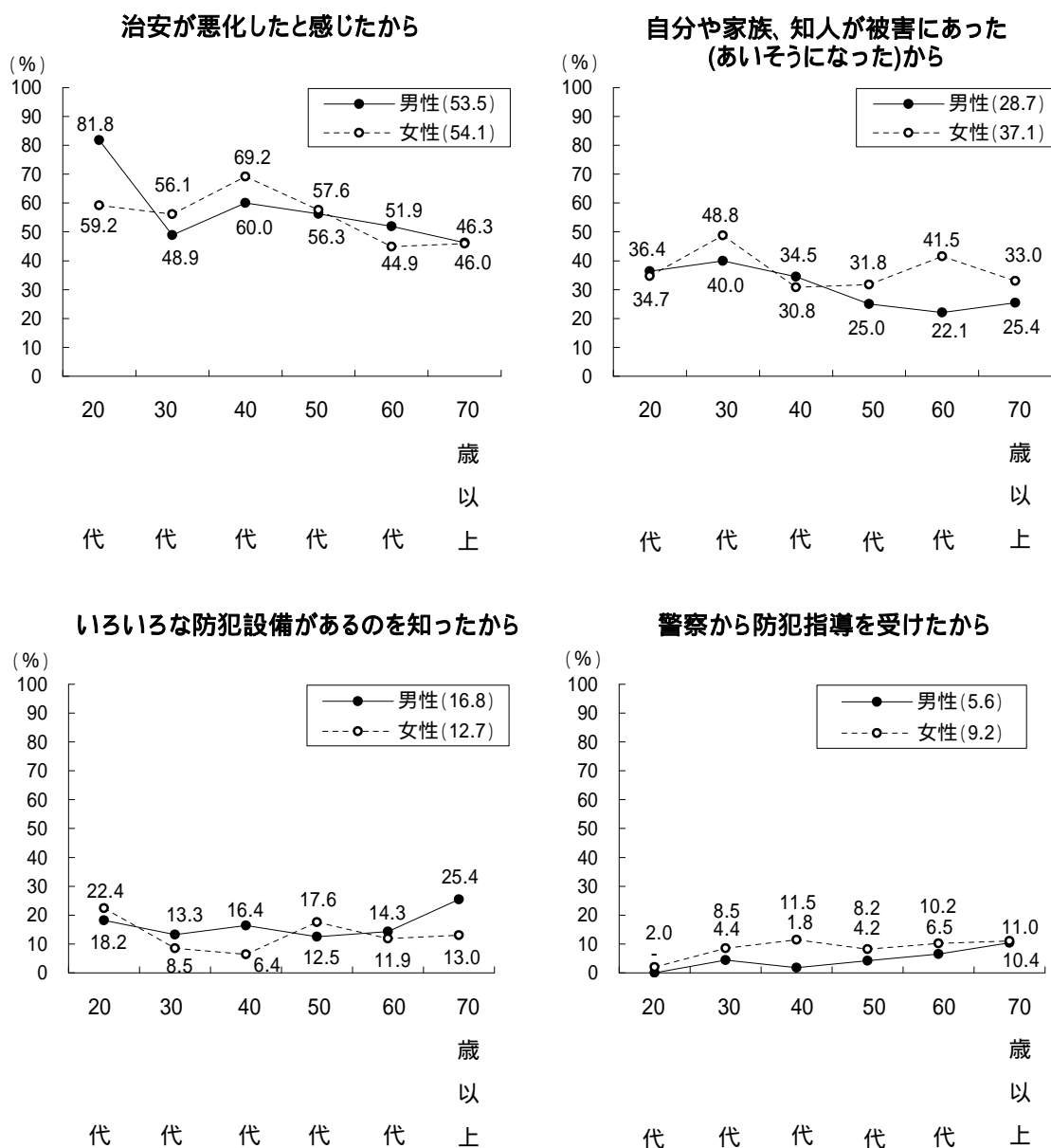


日頃から防犯対策を行っている人の動機については、「治安が悪化したと感じたから」が54.2%と最も高くなっている。次いで「自分や家族、知人が被害にあった(あいそうになった)から」が33.9%、「いろいろな防犯設備があるのを知ったから」が14.3%の順となっている。

性・年代別にみると、図3 - 4 - 1のとおりである。

「治安が悪化したと感じたから」では、男性は20代が81.8%と最も高い値を示し、女性は40代が69.2%で最も高い。また「自分や家族、知人が被害にあった(あいそようになった)から」では、20代と40代を除く他の年代で女性が男性よりも上回り、特に60代では女性は男性より20ポイント近く高い値を示している。

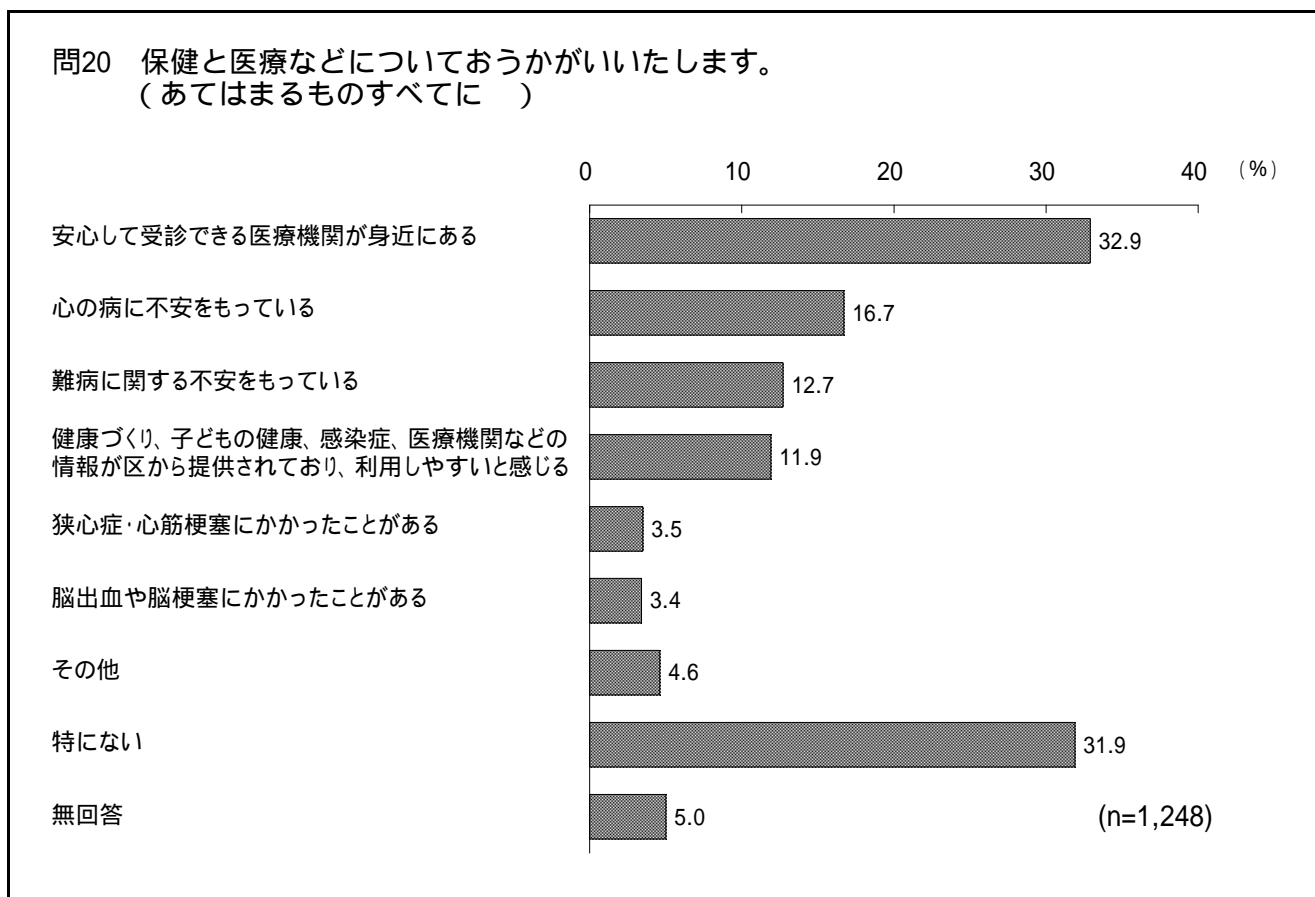
図 3 - 4 - 1 防犯対策を始めた動機 (性・年代別)



:()内の数値は男女それぞれの全体を示す

(5) 保健と医療

3人に1人が「安心して受診できる医療機関が身近にある」

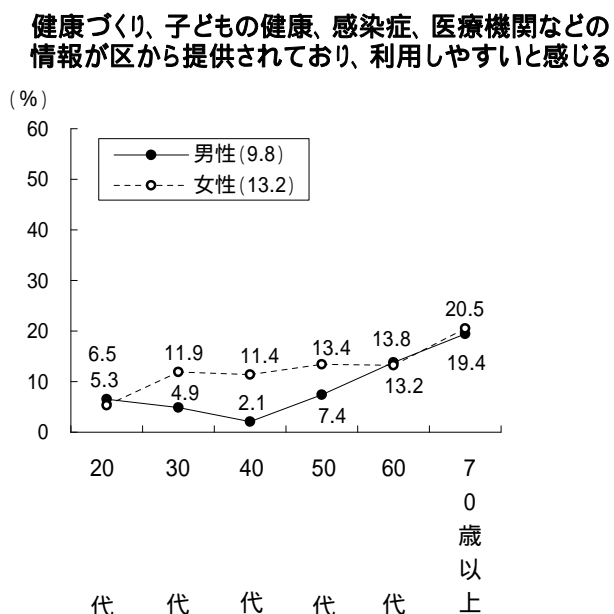
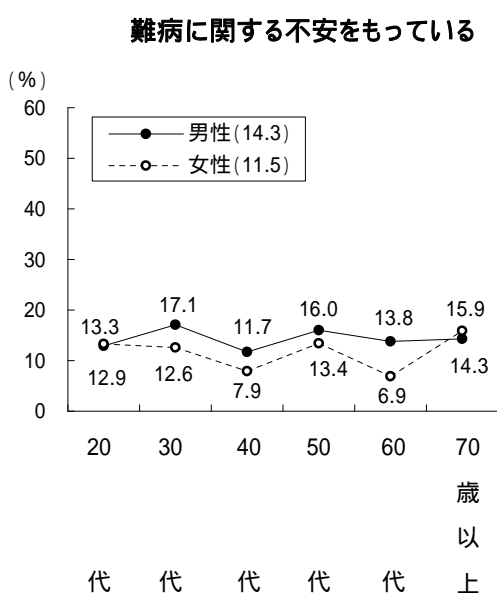
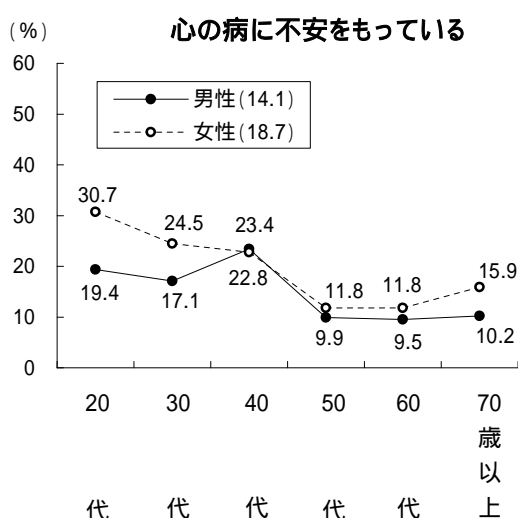
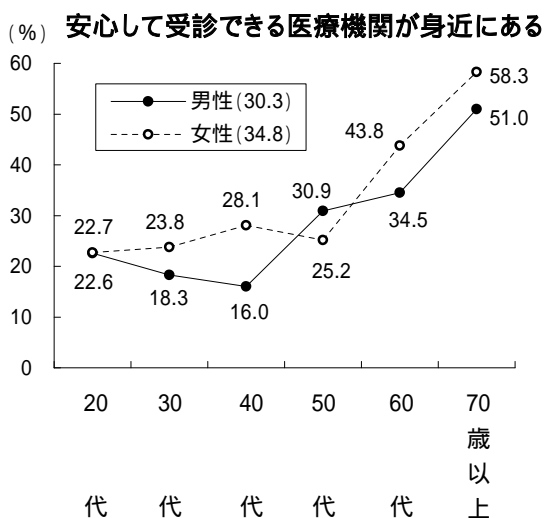


保健と医療などについて聞いてみると、「安心して受診できる医療機関が身近にある」と回答した人が32.9%を示している。次いで「心の病に不安をもっている」が16.7%、「難病に関する不安をもっている」が12.7%となっている。

性・年代別にみると、図3 - 5 - 1のとおりである。

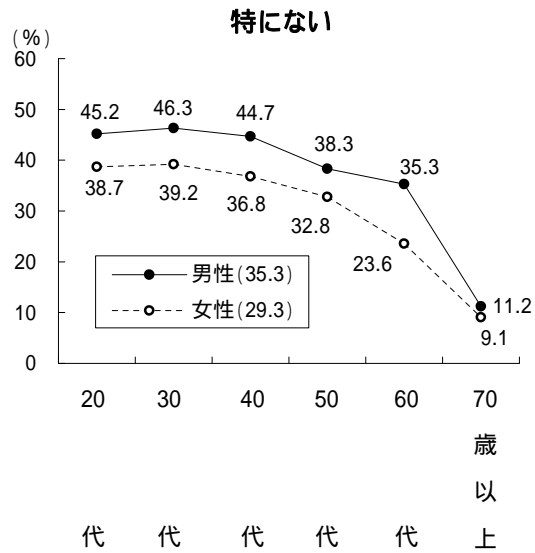
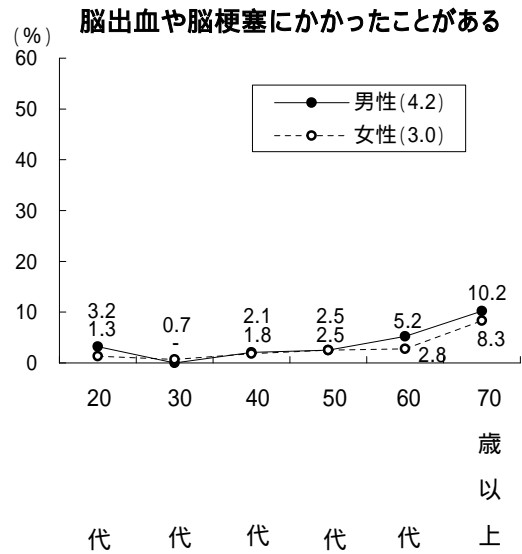
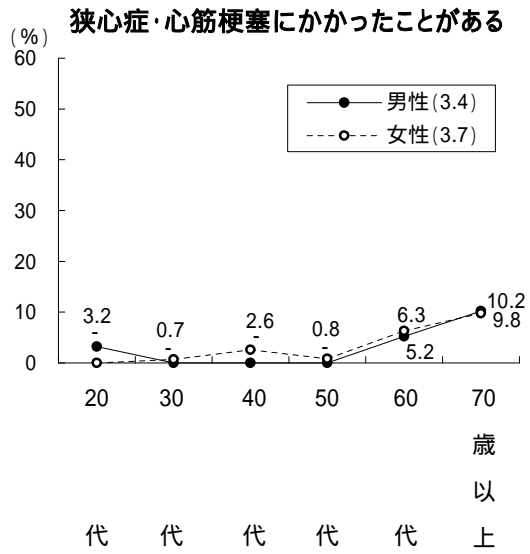
「安心して受診できる医療機関が身近にある」は男女とも年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、70歳以上では50%を超えている(男性 51.0%、女性 58.3%)。「心の病に不安をもっている」は女性20代で30.7%と30%以上を示し最も高く、男性と約11ポイントの差がある。また、「難病に関する不安をもっている」は、男性は30代が17.1%と最も高く、一方、女性では70歳以上で15.9%と最も高くなっている。「健康づくり、子どもの健康、感染症、医療機関などの情報が区から提供されており、利用しやすいと感じる」については、年代が上がるにつれ割合が上がる傾向を示し、男女共に70歳以上で最も高くなっている。

図 3 - 5 - 1 保健と医療 (性・年代別)



:()内の数値は男女それぞれの全体を示す

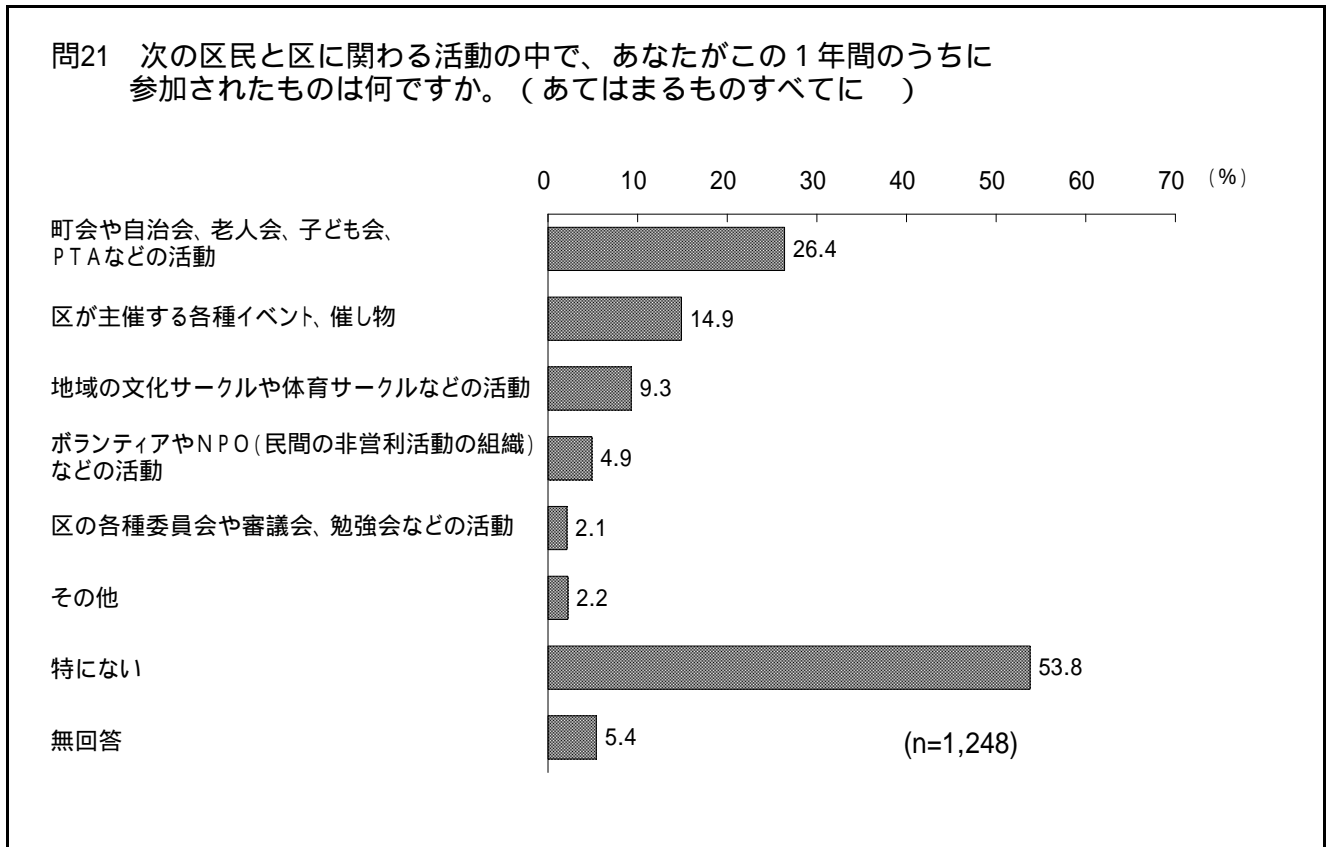
図 3 - 5 - 1 保健と医療 (性・年代別) - つづき -



: ()内の数値は男女それぞれの全体を示す

(6) 地域活動の参加状況

「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が最も高いが、半数以上が「特にない」



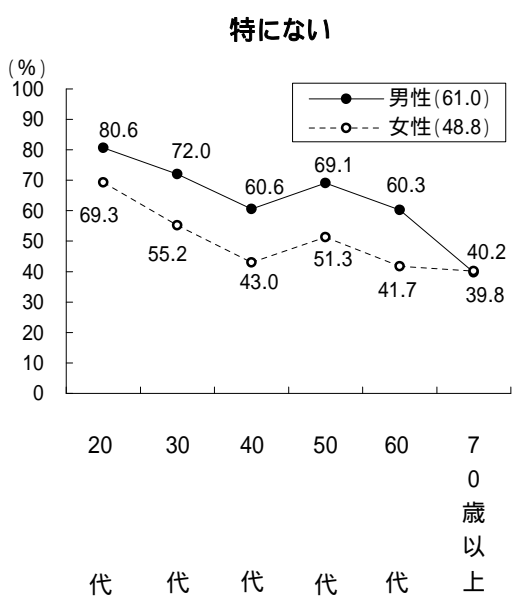
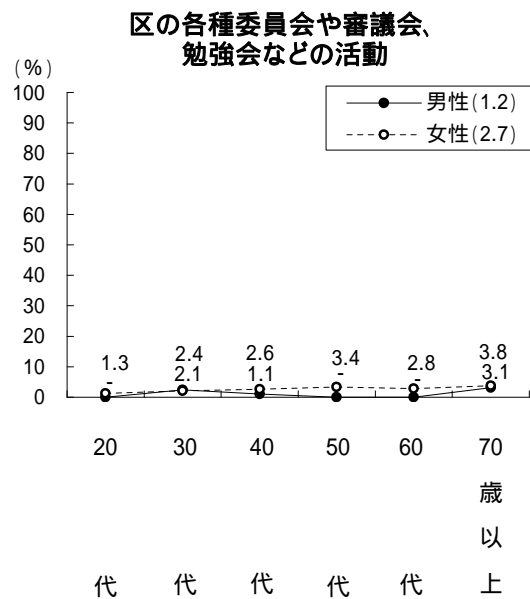
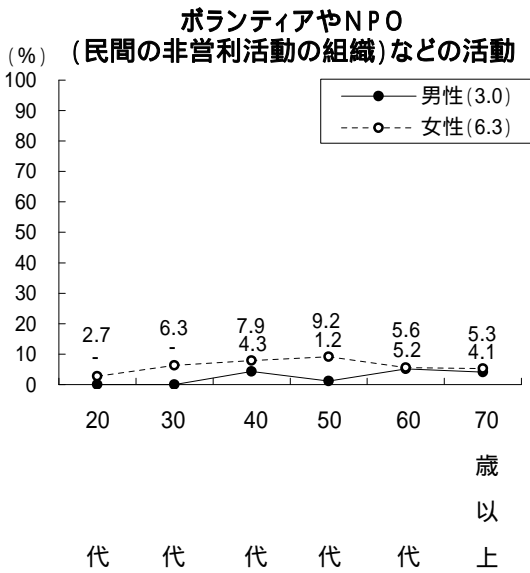
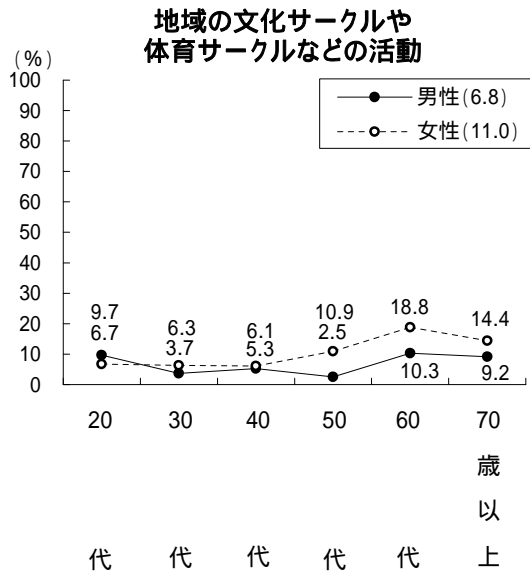
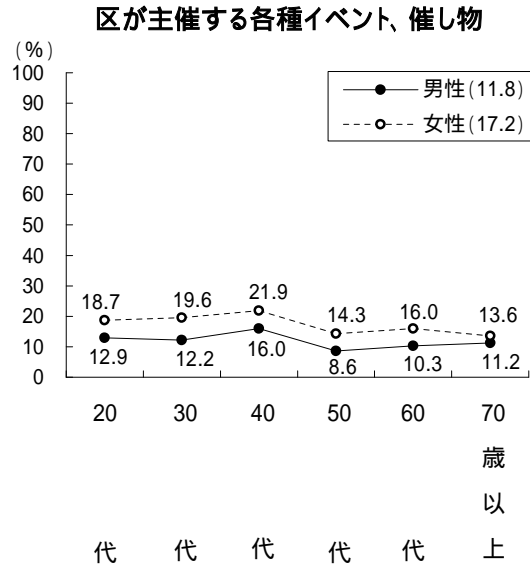
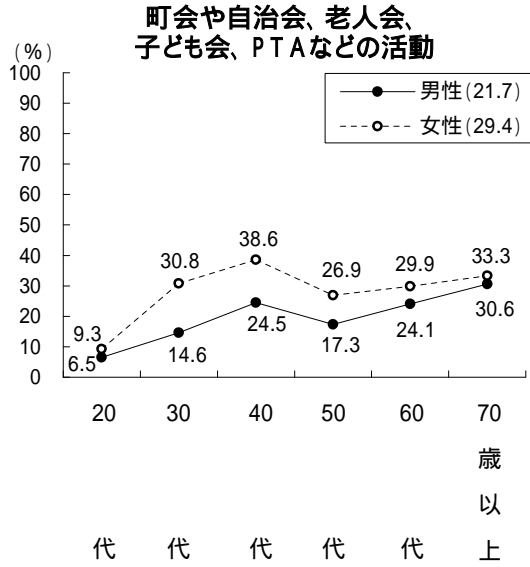
この1年間に参加した地域活動については、「特にない」が53.8%で、半数以上が参加していなかった。参加したものでは「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が26.4%と最も高く、次いで「区が主催する各種イベント、催し物」が14.9%、「地域の文化サークルや体育サークルなどの活動」が9.3%となっている。

性・年代別にみると、図3 - 6 - 1のとおりである。

「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」は女性40代で38.6%と最も高く、次いで女性70歳以上が33.3%となっている。全体的に女性の方が男性よりも高い傾向があり、30代、40代で顕著である。

また、「区が主催する各種イベント、催し物」でもすべての年代で女性の方が男性よりやや高い傾向にある。

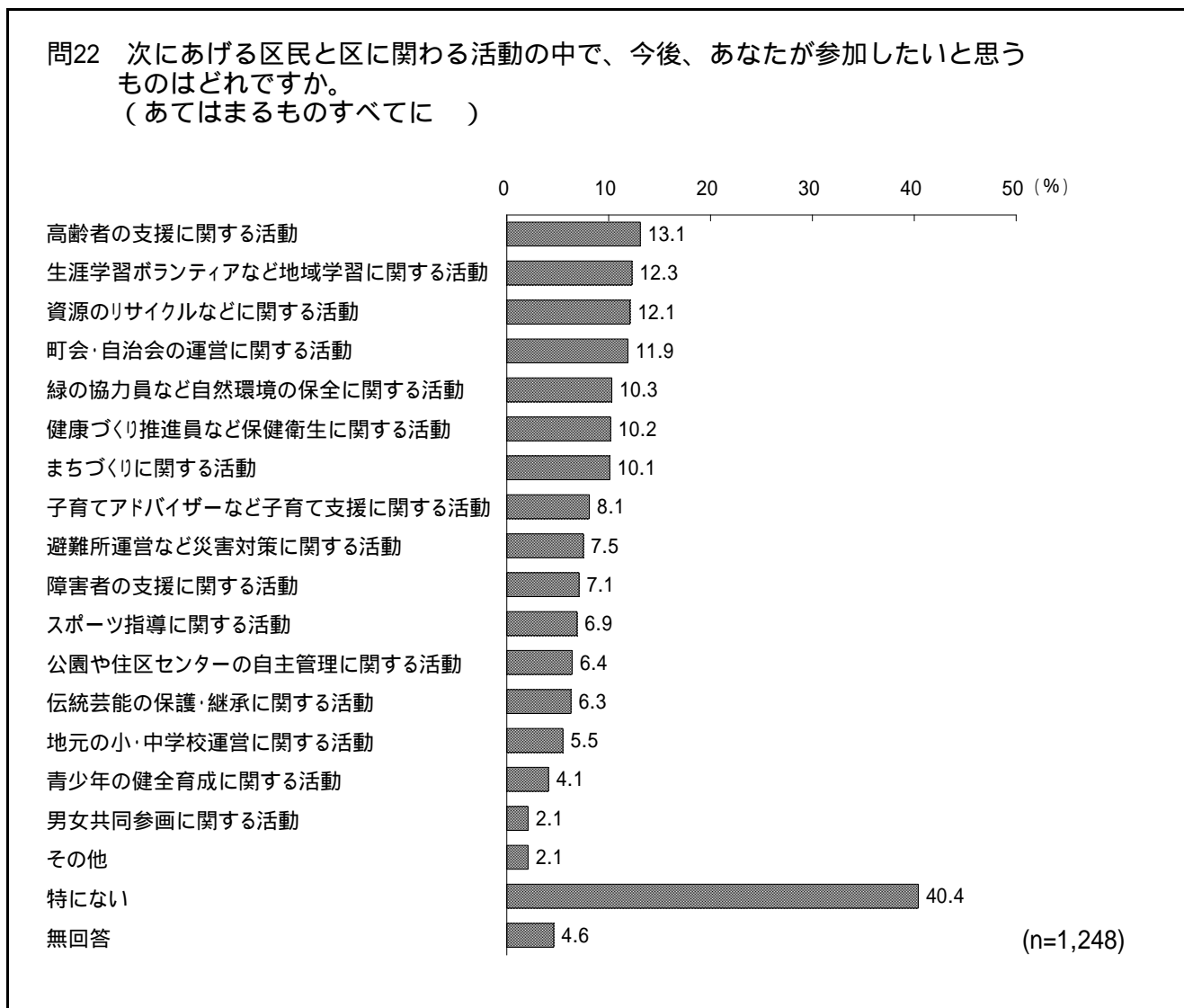
図 3 - 6 - 1 地域活動の参加状況 (性・年代別)



()内の数値は男女それぞれの全体を示す

(7) 地域活動への参加意向

「高齢者の支援に関する活動」が13.1%で最も高い

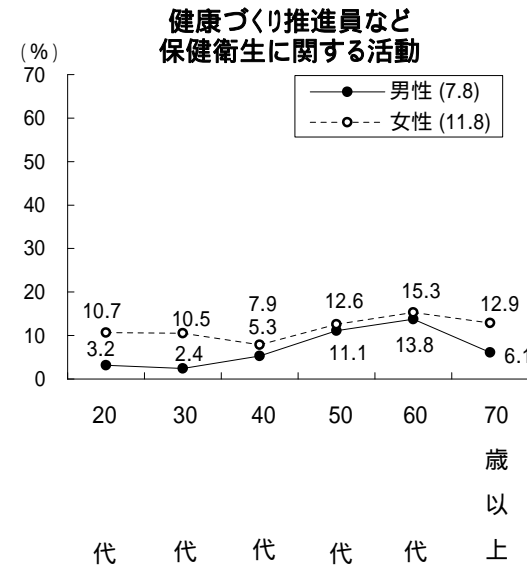
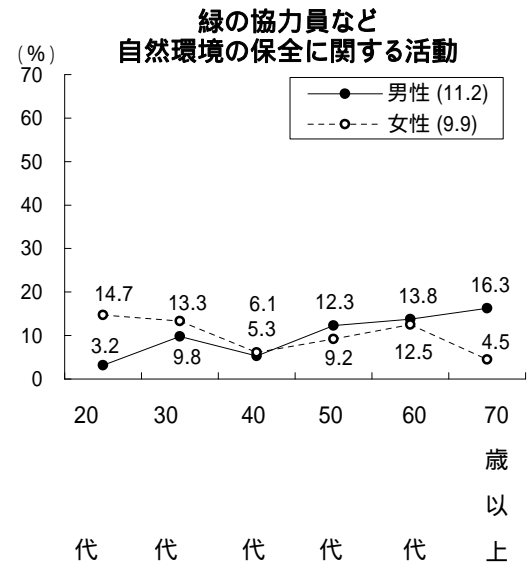
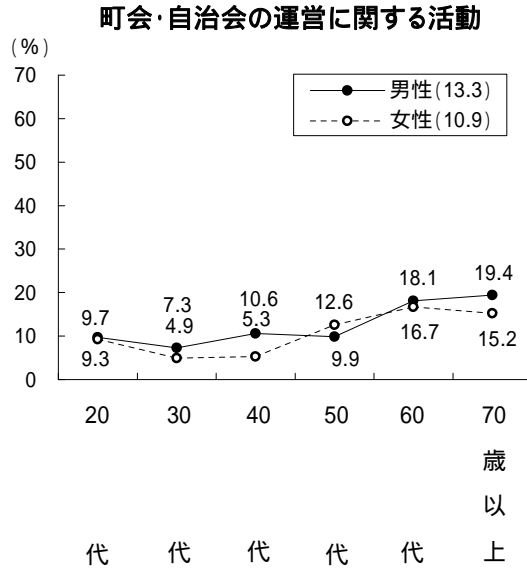
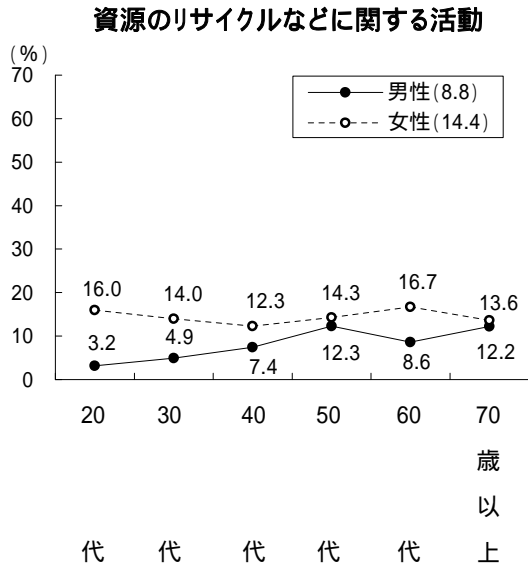
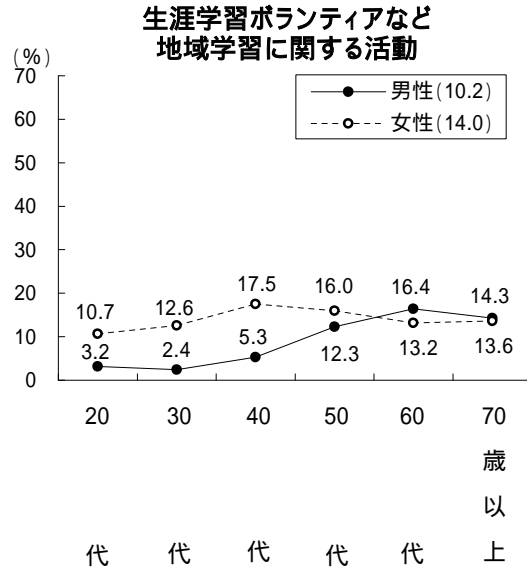
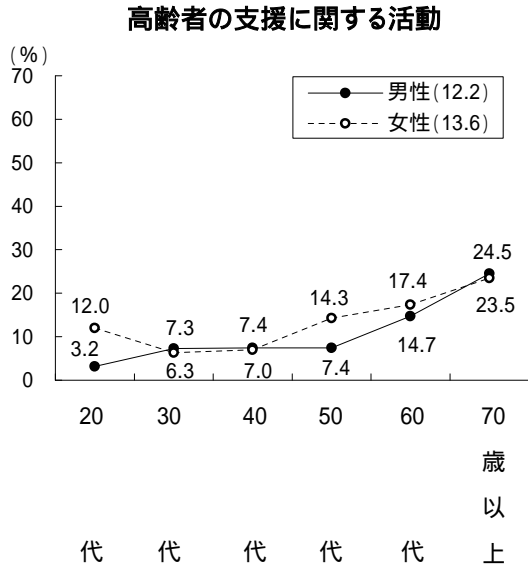


今後参加したいと思う地域活動については、「高齢者の支援に関する活動」が13.1%で最も高い。次いで「生涯学習ボランティアなど地域学習に関する活動」が12.3%、「資源のリサイクルに関する活動」が12.1%と続いている。一方、「特にない」は40.4%を占めている。

性・年代別にみると、図3 - 7 - 1のとおりである。

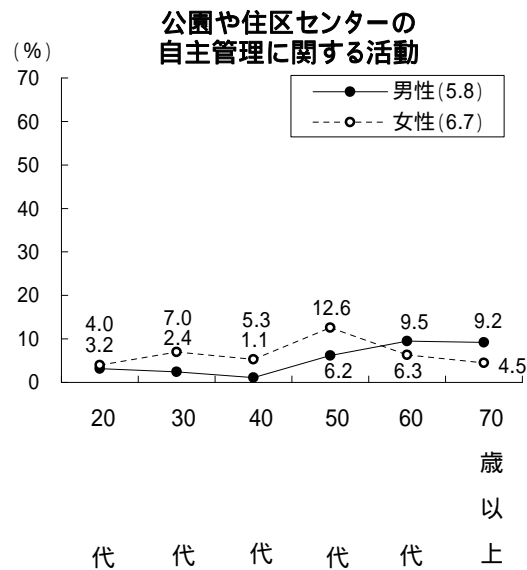
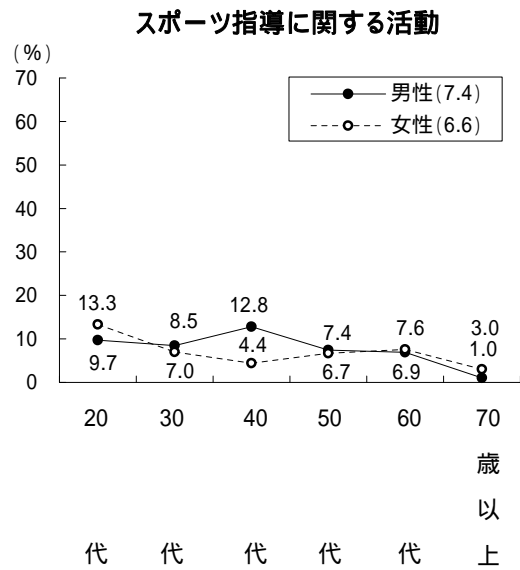
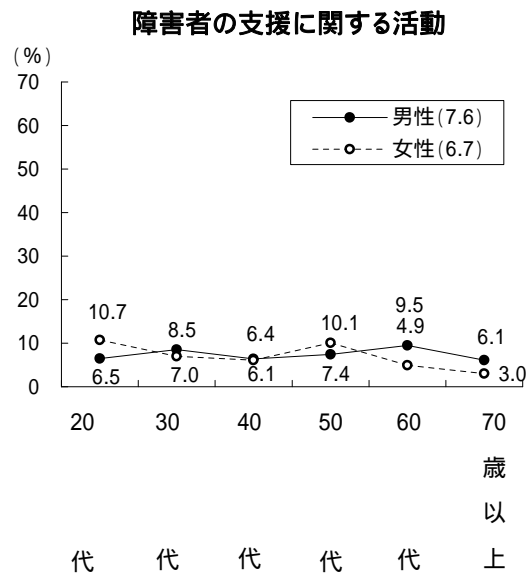
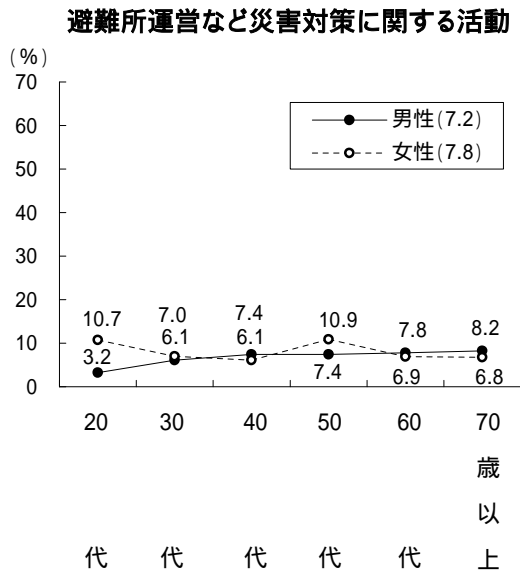
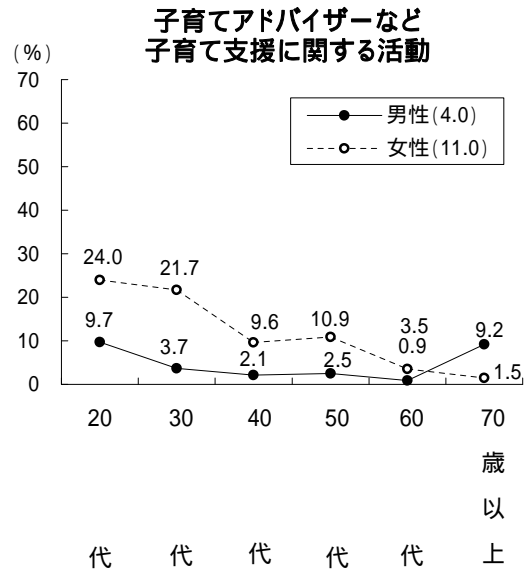
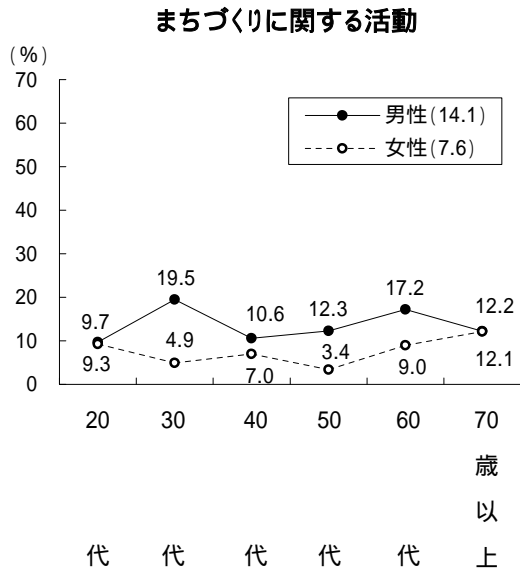
全体を通じて参加意向が20%を超えているのは「高齢者の支援に関する活動」の男性70歳以上(24.5%)、女性70歳以上(23.5%)、「子育てアドバイザーなど子育て支援に関する活動」の女性20代(24.0%)、女性30代(21.7%)となっている。

図 3 - 7 - 1 地域活動への参加意向（性・年代別）



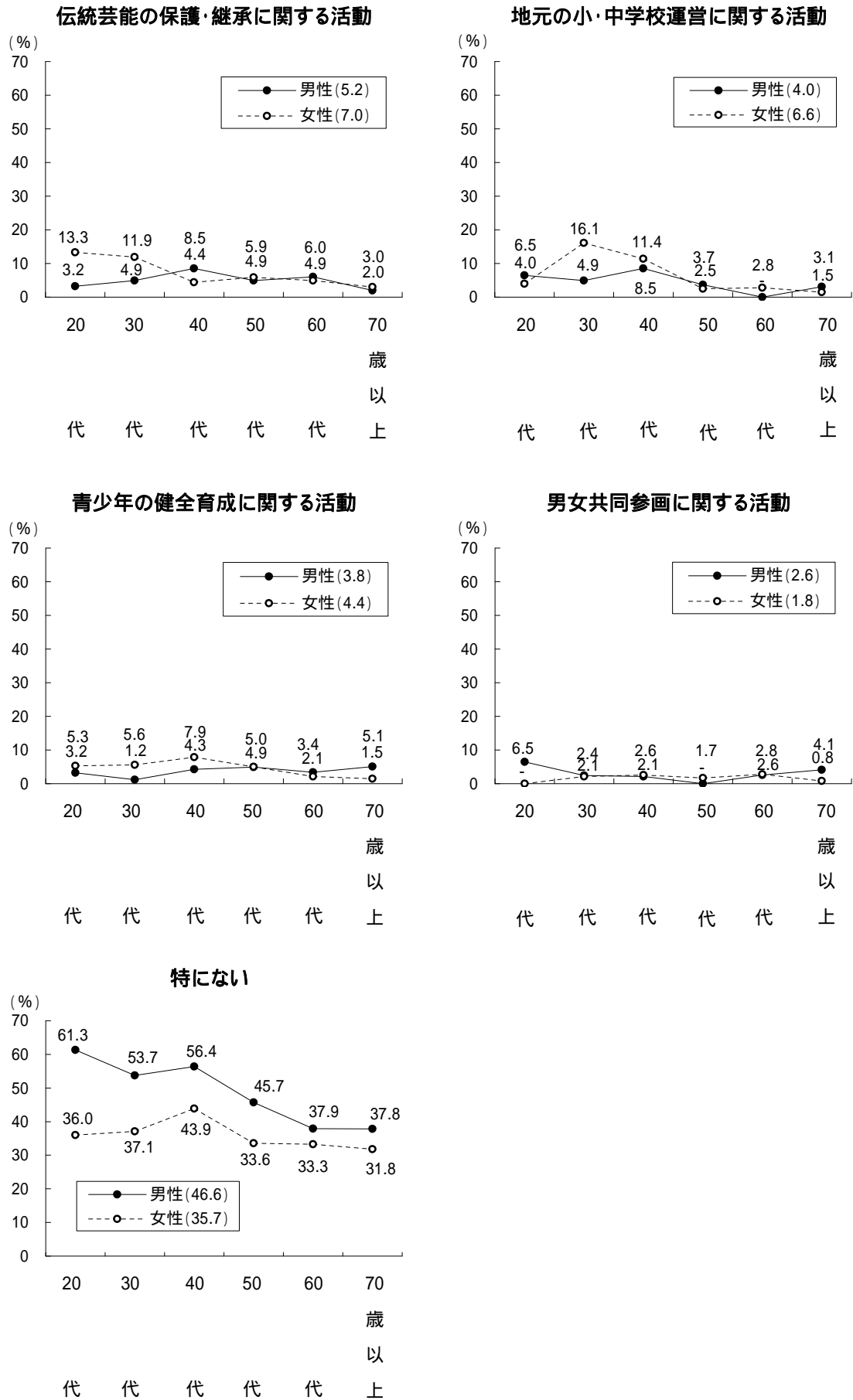
:()内の数値は男女それぞれの全体を示す

図 3 - 7 - 1 地域活動への参加意向 (性・年代別) - つづき -



:()内の数値は男女それぞれの全体を示す

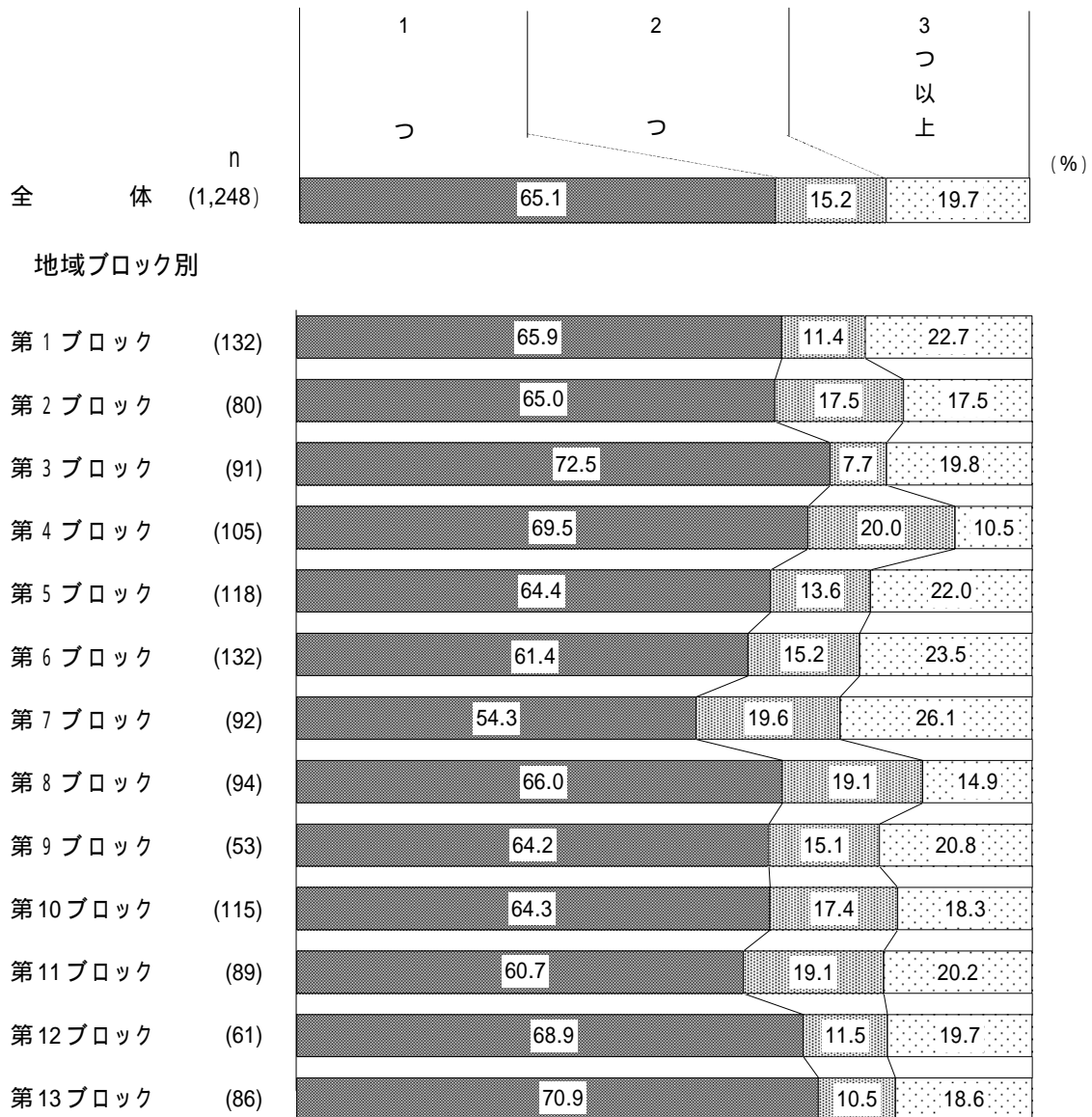
図 3 - 7 - 1 地域活動への参加意向 (性・年代別) - つづき -



:()内の数値は男女それぞれの全体を示す

区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数を地域ブロック別にみると、図3-8-1のとおりである。参加したいと思う項目が「3つ以上」の割合は第7ブロックが26.1%で最も高い。

図3-8-1 区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数（地域ブロック別）

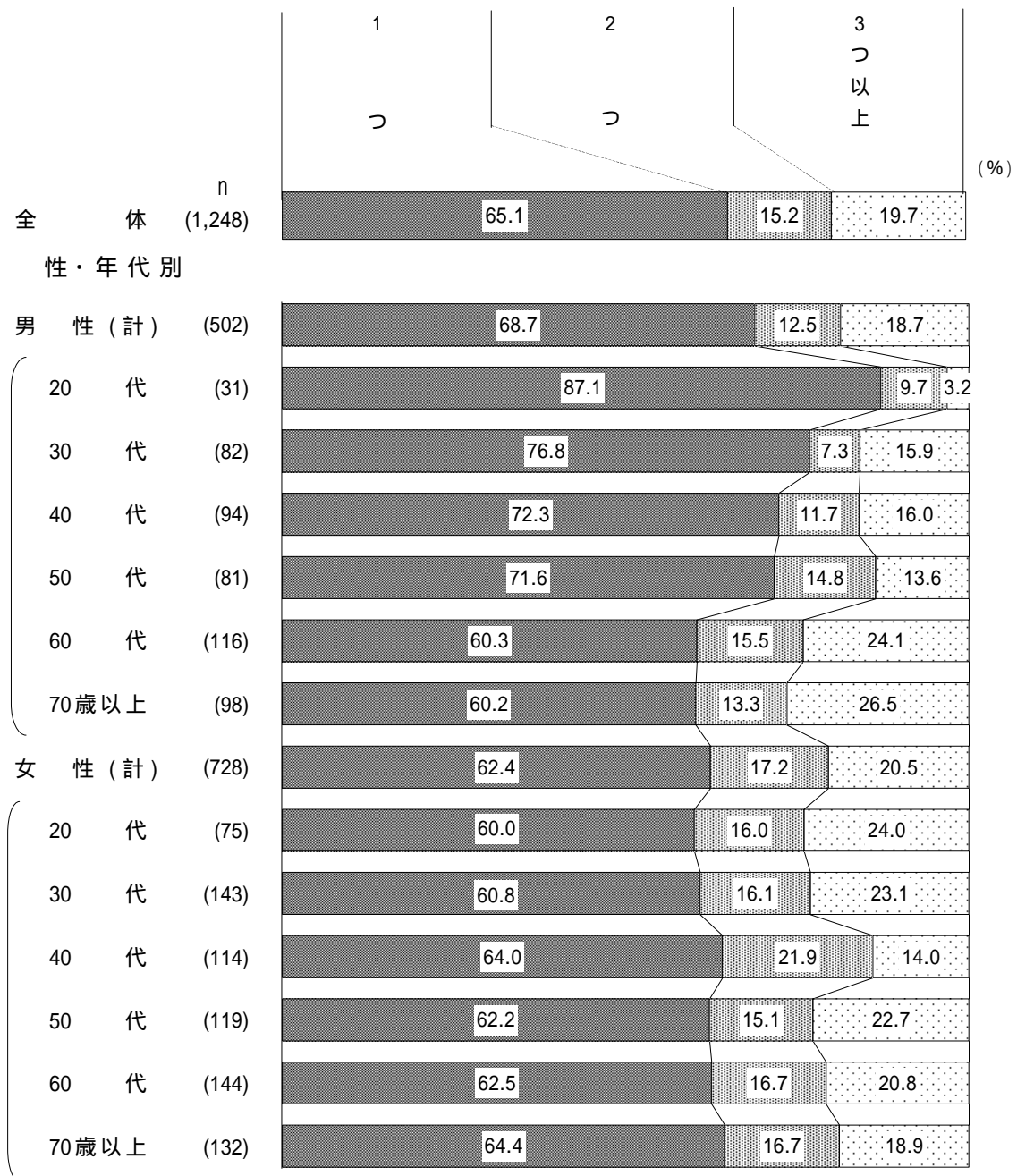


ブロック区分



区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数を性・年代別にみると、図3 - 8 - 2のとおりである。「1つ」と回答した人は、男性20代が87.1%と最も高い。「3つ以上」と回答した人は、男性は60代と70歳以上がそれぞれ24.1%と26.5%で20%を超え高く、女性では40代と70歳以上を除く年代で20%を超え高い値を示している。

図3 - 8 - 2 区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数（性・年代別）



区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数をライフステージ別にみると、図3-8-3のとおりである。「1つ」と回答した人は、独身期が71.7%と最も高い。一方、「3つ以上」と答えた人は、独身期と家族成長前期以外は20%を超えている。

図3-8-3 区民と区に関わる活動の中で参加したいと思う項目の数（ライフステージ別）

